一般質問

住宅の耐震診断は
一七年度に補助制度を創設

議員（自民）　減災のためには、昭和五六年の新耐震基準以前の住宅に対する耐震診断を早急に行う必要がある。住宅の耐震診断や技術者の養成をどのように進めようとしているのか。

土木部長　一七年度に木造住宅の耐震診断補助制度を創設したい。また、本年度からの三年間で約三〇〇名の木造住宅耐震診断士の養成に取り組んでいく。

議員　つくばエクスプレス開業に伴って整備する駐車場の規模が半分以下に縮小されたが、政策的なパークアンドライドの実現をどのように考えているのか。

企画部長　駐車場の台数は、交通渋滞の緩和等の観点から決定した。県としては、公共が整備する駐車場用地に県有地を充てるなどの支援を行うが、さらに必要な場合には立体化などにより適切に対応していきたい。

（ほかに、国民保護法への対応、今後の市町村合併の推進策なども質問）

新潟中越地震における被災住宅

今後の林野行政は
機能豊かな森林整備を推進

議員（自民）　森林の持つ公益的機能を広く県民のために生かすという視点に立ち、林野行政にどのような姿勢で取り組むのか。

知事　森林は、県民全体の貴重な財産であり、緑の雇用担い手育成対策事業による林業従事者の育成、広葉樹を導入した混交林の整備、ボランティアなど県民参加による森林づくりの推進など、機能豊かな森林の整備を推進していく。

議員　宮の郷工業団地への立地促進策、及び緒川工業団地の今後の方向性は。

企画部長　宮の郷工業団地では、光ファイバーによる高速・大容量の情報通信環境を整える支援制度を大いに活用していく。緒川工業団地は、早期の造成着手は難しいが、地元等から他の活用の要望があれば、譲渡等について検討する。

（ほかに、美和・緒川地域への県営住宅整備、震災時における体育館の有効活用なども質問）

森林ボランティアによる下刈りの様子

（株）茨城県中央食肉公社のせりの様子

と畜場の再編整備は
新たな合理化計画を策定

議員（自県ク）　中小企業が経営革新に取り組むにあたっては、地元の受け皿づくりが重要と考えるが、今後、どう取り組むのか。

商工労働部長　税理士、金融機関職員、商工会の経営指導員を推進者とするなど地域に根ざした普及活動を強化する。また、意欲を高め、経営革新計画の策定を容易にするため、販路開拓方法などを解説したガイドブックを作成する。

議員　畜産振興に向け、流通の合理化や消費者に安全で衛生的な食肉生産を理解してもらうため、と畜場整備にどう取り組むのか。

農林水産部長　効率化等を目的とした平成一七年度までの現在の食肉流通合理化計画を、広域性や衛生管理面に重点を置き、関係団体等と協議のうえ改定し、再編整備を促進していく。

（ほかに、競争力のある農業振興策、組合施行土地区画整理事業の支援策、高校教育のあり方なども質問）

今後の霞ヶ浦浄化の認識は
世界の先進モデルに

議員（自民）　霞ヶ浦浄化は、本県第一の重大な施策として推進すべきと考えるが、今後の霞ヶ浦浄化に対する認識について伺う。

知事　霞ヶ浦環境科学センターを拠点に関係者が連携して汚濁メカニズム解明の研究や浄化対策の強化を進め、霞ヶ浦での水質浄化が世界の先進モデルとなるよう精一杯取り組んでいく。

議員　農業・農村振興ビジョンの目標や施策についての現状把握と検証の上で新たな振興計画を策定すべきだが、同ビジョンの評価と新計画策定の視点は。

知事　ビジョンの目標にはさらに努力を要するものもあるが、関係者の意識改革による様々な取り組みが見られ、産出額も増加に転じている。このような取り組みへの支援により本県農業をより元気にできるとの認識のもと新計画を策定する。

（ほかに、農産物の安全確保、市町村合併と消防体制なども質問）

４月２２日オープンの霞ケ浦環境科学センター

利根川架橋の耐震安全性は
耐震補強を順次推進

議員（民清ク）　現行の乳幼児医療費助成制度の事務が煩雑である。公費助成がすぐわかるような番号をつけるなどの工夫で簡素化されると考えるがどうか。

保健福祉部長　公費負担番号を用いた請求をすることは、受給者の利便性向上や事務の簡素化につながると考えているが、改めて医療機関などの意向を確認した上で導入を図っていきたい。

議員　利根川に架かっている橋は、人の移動、物流に大変重要な役割を果たしており、その耐震強度は住民の大きな関心事である。橋の安全性はどうか。

土木部長　阪神・淡路大震災を契機に実施した総点検の結果耐震補強が必要とされた橋が一四橋あるが、架け替え中の一橋を除き、五橋は対策を完了、残る八橋も順次補強を進める。

（ほかに、緊急通報システムにおける事務の簡素化、常総線を活用した沿線の振興なども質問）

耐震補強を完了している新大利根橋

学力診断テストの活用は
一七年度小学三年にも実施

議員（自民）　本県教育の向上のためには、県が市町村別や学校別の学力診断テストの結果を把握する必要があると考えるがどうか。また、その活用方法について伺う。

教育長　平成一七年度から小学校三年生にもテストを実施するほか、学習に対する意識調査も行う。また、県教育研究会と協議しながら具体的な結果把握の方法や活用の仕方について検討していく。

議員　つくばエクスプレス開業に向けて多くの利用者を確保するため、試乗会や開業イベントなどのＰＲ活動にどう取り組むのか。

企画部長　県民がグループなどで企画して実施する歓迎の取り組みを支援し、つくば駅と守谷駅にはパブリックアートを設置する。また、七月中旬予定の国の完成検査後から開業までの間に試乗会を行いたい。

（ほかに、知事の歴史観・国家観、真の日中交流、新茨城百景なども質問）

「つくばエクスプレス沿線とサイエンスの旅」の様子